

運動負荷心電図検査について

1. 検査方法

- (1) トレッドミル法により検査を実施すること。ただし、医療機関の設備の都合等のやむをえない場合は、エルゴメーター法により検査を実施してもよい。
- (2) 検査を実施する際には、心拍数が年齢相当最大心拍数の 85%以上になること。ただし、上記を満たさない場合は、心拍数が年齢相当最大心拍数の 75%以上となり、かつ、ダブルプロダクトが 20,000 以上になること。

$$\text{年齢相当最大心拍数} = (220 - \text{年齢}) \text{ 回/分}$$

$$\text{ダブルプロダクト}^* = \text{最大血圧 (mmHg)} \times \text{心拍数 (beat/min)}$$

※) ダブルプロダクトは心筋酸素消費量を示す指標であり、心臓の仕事量を表すと考えられる心筋酸素消費量に相関が高い。

(注) β ブロッカー内服中の者は内服中止や減量はしないこと。必要な薬を中断し、さらに負荷をかけることは原疾患によっては非常に危険なためである。

2. 判定基準

以下の判定基準を満たしている場合には、虚血ありと判定する。

(1) 確定基準

ST 下降

水平型または下降傾斜型で 0.1mV 以上

J 点から 0.06 秒後ないし 0.08 秒後で測定

ST 上昇

0.1mV 以上

安静時 ST 下降がある場合

水平型ないし下降傾斜型で附加的な 0.2mV 以上の ST 下降

(2) 参考所見

上行傾斜型 ST 下降

S T部の傾きが小さく（1mV／秒以下）0.1mV以上
陽性U波の陰転化

（3）偽陽性を示唆する所見

HR—S T ループが反時計方向回転

運動中の上行傾斜型S T下降が運動後徐々に水平型・下降傾斜型に変わり、
長く続く場合

附則（平成25年11月27日）

本基準は、平成25年12月20日から適用する。